

学会便り 第149回秋期大会報告

第49回「若手の会」, 「若手育成のための合同会合」
および第5回「若手の会見学会」Meeting report on “The 49th youth meeting”,
“Associated meeting for youth development” and “The 5th youth tour”

木村 慎吾

Shingo KIMURA

1. 若手の会 第49回会合

横浜国立大学 常盤台キャンパスにて開催された軽金属学会第149回秋期大会3日目の昼食時間（2025年11月9日（日）12:10～13:10）に、若手の会第49回会合を現地・オンラインのハイブリッドで開催した。今回は大学3名、学生8名、企業12名の計23名に参加いただいた。はじめは昼食のお弁当を食べながら懇談し、その後話題提供として株式会社UACJの赤谷 優太郎氏より「研究活動におけるプロセス理解の楽しさと重要性」というテーマで講演いただいた（図1）。赤谷氏の趣味の釣りの話から釣りはなぜ楽しいのかという点に着目し、釣りにおいても研究においてもプロセスを理解し楽しむことが重要ではないかという提案の内容で非常に興味深い講演であり、内容に沿って釣りの話から研究の話まで活発な議論が交わされた。

今回も懇談や講演会ならびにその後の活発な質疑応答を通じて、若手同士の親睦を深めることができた。会場の準備や当日のサポートにご尽力いただいた第149回大会実行委員の皆様がこの場を借り厚く御礼申し上げる。

2. 若手育成のための合同会合

大会初日の11月7日（金）の19:00から、横浜駅近くの居酒屋にて若手育成のための合同会合を開催した。今回は大学1名、学生3名、企業4名の計8人に参加いただいた（図2）。合同会合では、後述する見学会の感想や各々の趣味の話から研究・仕事の話など幅広い話題で大いに盛り上がり、親睦を深めることができた。

3. 第5回 若手の会見学会

第3回、第4回は残念ながら最低催行人数を下回ってしまった

ため中止になったが、今大会では無事に第5回若手の会見学会を開催することができた。今回は大会初日の11月7日（金）の10:00から、帆船日本丸・横浜みなと博物館を見学し、大学3名、学生3名、企業3名の計9名に参加いただいた（図3）。見学ではまず横浜みなと博物館にてガイドの方より横浜港の歴史や成り立ちを丁寧に説明いただき、その後帆船日本丸の中を見学し、最後に参加者同士で意見交流会として感想を語り合った。軽金属材料が直接使用されている部位はあまり確認できなかったが、横浜港が現在取り組んでいるカーボンニュートラルの課題は軽金属材料の活用分野においても重要性が増していることや、造船分野では現時点で軽金属材料が構造材として広く用いられているわけではないが、今後の研究開発の進展により将来的にアルミニウム・マグネシウム・チタンなどの利用拡大が期待されるといった意見が挙がり、参加いただいた若手研究者にとっての良い刺激となった見学会であった。

若手の会では、形式は柔軟に変化させながら、若手の会会合、若手育成のための合同会合および見学会を継続的に開催していく予定である。他大学の学生、他企業の研究者と交流し、横のつながりを広げられる良い機会になるため、次回の富山でも奮って参加いただきたい。若手の会の活動内容に対して、ご意見・ご希望などがあれば、ぜひ以下の若手の会のメールアドレスまでご連絡いただきたい。皆様の声をお待ちしている。

若手の会世話人：室蘭工業大学 佐々木 大地
株式会社UACJ 愛須 優輝
日本軽金属株式会社 木村 慎吾（文責）
若手の会メールアドレス：keikinwakate@gmail.com



図1 若手の会



図2 若手育成のための合同会合



図3 見学会での記念写真